

科目名	新しい世界を拓いた人々	授業形態	講義
英語科目名	Pioneers toward the New Frontiers	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	田中 和廣	ナンバリング	BAS1125
担当教員	田中 和廣、廣津 信義、馬場 猛、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>スポーツ健康科学部、医学部、医療看護学部の3学部の学生を対象として、共通開講する一般教養の選択科目です。本学の全ての学部の一般教養担当教員を中心とした7名の教員が、それぞれの専門とする分野からインパクトのある話題、興味深い話題を選び、わかりやすく紹介します。特に、各分野に貢献した人物を糸口にして、分野の発展におけるターニング・ポイントにスポットを当てるほか、現在注目を浴びているホットな話題も取り上げます。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人文科学から自然科学に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持つことができる。 2. 所属学部にとらわれることなく他学部の学生とも積極的に交流して意見を交換できる。 3. 物事を様々な視点から考えることができる。 4. チームでの討論を通して、問題点を掘り下げその解決策を提案することができる。 5. 自分の意見をわかりやすく具体的に述べ、簡潔な文でまとめることができる。 		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目では、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付けます。人文科学から自然科学に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持ち、仲間とのコミュニケーション力を高めて互いに意見を交換し、視野を広げ、考えを深めることを目標とします。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] Zoomによるオンライン授業として実施します。 対象：スポーツ健康科学部、医学部、医療看護学部 of 1年生（ただし、スポーツ健康科学部は2年生以上も履修できます。）</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 受講希望者多数の場合は、抽選をすることもあります。</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	各回の授業での提出物（グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題）を担当の教員が10点満点で採点した結果（90%）と、授業態度およびグループ・ディスカッションへの参加態度（10%）とを統合し、合計点を100点満点に換算して最終結果とします。
------	---

評価基準	<p>各回の授業での提出物（グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題）により、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のグループ・ディスカッションを通して自分の考え方を発展させることができたか、 ・自分の意見をわかりやすく説明できるか、 <p>を評価し、到達目標1～5の達成度を判定します。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

グループ・ディスカッションの内容を発表して全体で議論したり、各回の授業での提出物から解答例・感想の例をピックアップして紹介し、フィードバックする機会があります。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
				テキストは使用しません。

参考文献

参考書等は、授業の際に適宜紹介します。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[担当者の連絡先とオフィスアワー]</p> <p>担当： 廣津信義 E-mail: nhirotsu[at]juntendo.ac.jp ([at] を@に変更してください) 日時： 前期期間中の火曜日14:40から16:20 場所： さくらキャンパス1号館3階1327室</p> <p>担当： 田中和廣 E-mail: kztanaka[at]juntendo.ac.jp ([at] を@に変更してください) 日時： 前期期間中の木曜日9:00から15:00 場所： さくらキャンパス1号館3階1314室</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] Zoomによるオンライン授業として実施します。3学部の学生が混合するようにグループを作り、Zoomのブレイクアウトルームにてグループ・ディスカッションをする時間を授業の中に設ける予定です。ブレイクアウトルームではZoomのカメラをONにすることとし、顔出ししてグループ・ディスカッションに参加できることを履修の条件とする。ディスカッションに積極的に取り組めるよう、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性を高め準備をしておくこと。 ①良い、悪い、驚いた等と感じたことがどの点であるかを、具体的に述べ簡潔な文でまとめられるようにしておくこと。 ②自分の意見をわかりやすくまとめて述べられるようにしておくこと。 ③通り一遍の意見にならないよう、自分の意見を掘り下げ深めようとする習慣をつけること。 ④理路整然とした筋の通った文章を書く訓練をしておくこと。 これらについて常日頃から意識して心掛け、身に付けるよう努めることが大切である。 また、この授業で登場する“新しい世界を拓いた人々”のエピソードや、授業のグループ・ディスカッションを通して自分の仲間たちの考え方からも学び、21世紀を生きていくために自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたて実行に移していく。 なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	田中 和廣 廣津 信義 藤倉 ひとみ 馬場 猛	<p>[授業内容] テーマ：4学部共通講座ガイダンス 授業の進め方とスケジュール、受講者の心構えについて解説し、グループ・ディスカッションのグループ分けを行う。</p> <p>[キーワード] ・グループ・ディスカッション ・グループ・リーダー、成績評価の方法</p>	講義 SGD	<p>(予習：2時間) グループ・ディスカッションの進め方について検索し自己学習しておくこと。 (復習：1時間) 受講者の心構えと成績評価の方法を確認し、ディスカッション・リーダー等の次回の役割分担をまとめておくこと。</p>
2	馬場 猛	<p>[授業内容] テーマ：自己とは何か ～免疫というシステム～ ジェンナーに始まる免疫学の歴史をひも解き、免疫とは何か、自己とは何か、を議論する。</p> <p>[キーワード] ・天然痘、二度なし現象 ・ワクチン、抗毒素(抗体)、自己と非自己</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) 免疫という言葉から連想される事象を考えておくこと。 (復習：1時間半) 免疫学の歴史について復習し、先人たちがいかに知恵を絞ったか、考えを巡らせよう。</p>

3	奥野 浩	<p>[授業内容] テーマ1：最初の計量 次の事項を議論する：どうして、測って数字にするのか？ テーマ2：記述統計の働き 次の事項を議論する：数値から何がわかるか</p> <p>[キーワード] ・データ ・グラント、ナイチンゲール</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) 測ってデジタル化する理由を考えてみよう。記述統計について調べてみよう。 (復習：1時間半) 身近なデータを調べ、そこから何がわかるか考える。</p>
4	奥野 浩	<p>[授業内容] テーマ1：確率とは 次の事項を議論する：確率で起きることを考える テーマ2：推計統計学 次の事項を議論する：一部から全体を推し量る</p> <p>[キーワード] ・カルダノ ・フィッシャー、ピアソン</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) 降雨確率について調べてみよう。仮説検定について調べてみよう。 (復習：1時間半) 仮説検定を利用した記事を探す。</p>
5	Andrew Mason	<p>[授業内容] テーマ：Pioneers ~Interdisciplinary (1)~ 次の事項を議論する：Health Economics</p> <p>[キーワード] ・scarcity, values, quality, affordability, accessibility ・efficiency, effectiveness</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) Briefly review the academic field of health economics. (復習：1時間半) Consider practical solutions to the rising cost of healthcare.</p>
6	Andrew Mason	<p>[授業内容] テーマ：Pioneers ~Interdisciplinary (2)~ 次の事項を議論する：Telemedicine</p> <p>[キーワード] ・health outcomes, cost, accessibility ・patient perceptions, provider perceptions, patient satisfaction</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) Briefly review the emerging field of telemedicine. (復習：1時間半) Consider how medical care will change following widespread implementation of telemedicine.</p>

7	杉山 和也	<p>[授業内容] テーマ：説話を伝える人々（1） 次の事項を議論する： ・ 説話とは何か ・ キリスト教の聖人「ヨサファト」の正体を探れ</p> <p>[キーワード] ・ 説話、文学、民俗学 ・ 宗教、死生観</p>	講義 SGD	<p>（予習：1時間半） 中学、高校までの世界史と文学史の授業の内容を復習する。 （復習：1時間半） 授業で示された資料や参考文献をよく読み、自分なりに考察を深める。</p>
8	杉山 和也	<p>[授業内容] テーマ：説話を伝える人々（2） 次の事項を議論する：世界に広がる「月の鼠」説話</p> <p>[キーワード] ・ 説話、文学、民俗学 ・ 宗教、死生観</p>	講義 SGD	<p>（予習：1時間半） 世界宗教について、基本的な事柄を自分なりに調べる。 （復習：1時間半） 授業で示された資料や参考文献をよく読み、自分なりに考察を深める。</p>
9	枝松 裕紀	<p>[授業内容] テーマ：遺伝子工学と人類社会（1） 次の事項を議論する： ・ 遺伝とは何か？遺伝子とは何か？ ・ 遺伝子工学の始まり</p> <p>[キーワード] ・ メンデル、珍獣鼠育艸、DNA、ワトソンとクリック、X線物理学 ・ アシロマ会議、遺伝子組換えに関するガイドライン、ポール・バーグ、フレデリック・サンガー</p>	講義 SGD	<p>（予習：1時間半） キーワードについて、ネット検索などしておく。リンクされている文献などを読むのもよい。 （復習：1時間半） 遺伝子工学に関係した活動は、どのように進められてきたか。各自でまとめよ。</p>
10	枝松 裕紀	<p>[授業内容] テーマ：遺伝子工学と人類社会（2） 次の事項を議論する： ・ 遺伝子工学の応用 ・ 遺伝子解析技術とゲノム編集</p> <p>[キーワード] ・ カルタヘナ法、ベクター、遺伝子組換え作物、食料問題 ・ 次世代シーケンシング技術、がん遺伝子パネル検査、ゲノム編集作物、法規制</p>	講義 SGD	<p>（予習：1時間半） キーワードについて、ネット検索などしておく。リンクされている文献などを読むのもよい。 （復習：1時間半） 遺伝子関連技術が社会で良い使い方をするために何が必要か。各自の考えをまとめよ。</p>

11	佐野 裕子	<p>[授業内容] テーマ：呼吸リハビリテーションの概念の変遷とこれからの展望 次の事項を議論する： ・呼吸困難と低酸素血症 ・リハビリテーションにおける予防的介入手法</p> <p>[キーワード] ・COPD、息切れ、呼吸トレーニング、日常生活活動、低酸素血症 ・フレイル、サルコペニア、身体活動性</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) COPD（慢性閉塞性肺疾患）の病態、治療について調べておく。 (復習：1時間半) 多職種の特長性を理解し、チームで実践するCOPDのリハビリテーションについて考える。</p>
12	藤倉 ひとみ	<p>[授業内容] テーマ：セクシュアルマイノリティと文学 次の事項を議論する： ・欧米クィア史と文学 ・現代のクィアを考える</p> <p>[キーワード] ・英米文学・文化、セクシュアルマイノリティ、クィア ・アメリカ文学・文化、セクシュアルマイノリティ、SOGI</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) 欧米においてセクシュアルマイノリティの人々が歴史的に受けてきた扱いについて調べておくこと。 (復習：1時間半) 議論を通して学んだことをもとに、セクシュアルマイノリティとの関わり方について考える。</p>
13	新井 一	<p>[授業内容] テーマ：脳神経外科学の発展 ～そのパイオニア達～ 脳神経外科学の発展の歴史を振り返り、その発展の軌跡を知る。</p> <p>[キーワード] ・脳神経外科手術、機能温存外科 ・脳血管撮影、CT、MRI</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) 脳神経外科で扱う疾患は？調べてみよう。 (復習：1時間半) パイオニア達の情熱とそれを支える医療技術の進歩について、学んだことをまとめる。</p>

14	田中 和廣 廣津 信義 藤倉 ひとみ 馬場 猛	<p>[授業内容] テーマ：まとめ 次の事項を考える： ・新しい世界はどう切り拓かれたか？ ・これから新しい世界を切り拓くには？</p> <p>[キーワード] ・4学部共通講座のふりかえり ・必要となる“真の教養”とは？ ・大学生活でどう学んでいくか？</p>	課題レポート作成	<p>(予習：4時間) これまでの授業で感動した内容、印象に残ったグループ・ディスカッションをまとめておく。</p> <p>(課題レポート作成：8時間) これまでの授業をふりかえり考える。将来の自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたてる。これらの課題について指示にしたがいレポートを作成し提出する。</p>
		定期試験を実施しない		

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）